



各位

2011年1月18日

興和株式会社

**肝細胞がん再発抑制剤「ペレチノイン（開発コード：NIK-333）」の  
国内製造販売承認申請について**

興和株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：三輪芳弘、以下「興和」）は、1月18日付でC型肝炎ウイルスに起因する肝細胞がん再発の抑制剤として開発中の「NIK-333（一般名：ペレチノイン）」の国内製造販売承認申請を行いましたのでお知らせいたします。

ペレチノインは非環式レチノイド（ビタミンA誘導体）で、世界初の肝細胞がんの再発を抑制する薬剤であります。当社はアンメットメディカルニーズにお応えし、新たな治療機会を提供することで、患者さんをはじめご家族や医療関係者の皆様に貢献できるものと期待しております。

■NIK-333について

- 一般名 : ペレチノイン(Peretinoin)
- 製品名 : ルチコークラプセル 75mg(予定)
- 効能効果 : C型肝炎ウイルスに起因する肝細胞がん治療後の再発抑制(予定)
- 用法・用量 : 通常、成人にはペレチノインとして1回300mgを1日2回朝夕食後に経口投与する。(予定)

■肝がん、肝細胞がんについて

肝がんは世界で6番目に罹患率の高いがんで、毎年新たに74万人以上が肝がんと診断されます。一方、日本では毎年新たに約4万人が診断され、約3万人の方がお亡くなりになっており、がんによる死因の第3位です。原発性肝がんは、肝細胞がんと胆管細胞がんに大別でき、うち約94%が肝細胞がんです。肝細胞がんの多くはB型およびC型肝炎ウイルスへの感染が原因であり、日本ではC型肝炎ウイルスへの感染が肝がんの発症原因の約68%を占めています。肝細胞がんは、根治術後の再発率が比較的高いことが知られており、初発C型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん治療後1年目までで24%、3年目までで76%、5年目までで92%と報告されています。

以上

|            |           |                                       |
|------------|-----------|---------------------------------------|
| <br>興和株式会社 | 広報第二部(東京) | 東京都中央区日本橋本町3-4-14<br>TEL:03-3279-7392 |
|            | 本店(名古屋)   | 名古屋市中区錦3-6-29                         |